

田中復興大臣記者会見録

(令和2年1月28日(火) 8:39～8:42)

於) 衆議院本会議場中庭側廊下)

1. 発言要旨

昨日、福島県主催の「ふくしまプライド。食材博～食の交流会～」に出席いたしました。

福島県産農林水産物のさらなる販売拡大に向けて、大変多くの生産団体、流通業者の皆様が参加され、福島の復興につながるものと、私も大変うれしく、また、心強く思ったところでございます。

イベントに参加されていた岩瀬農業高校の皆さんの「GAP」への熱い想いと、その取得に向けた大変な御努力に強い感銘を受けました。

こうした若い世代の皆さんによる、安全・安心な農産物の生産に向けた取り組みなど、参加された生産団体、あるいは流通業者の方々の取り組みと政府の施策が相まって、福島県産の農林水産物が1人でも多くの消費者の方々に届けられることを願っております。

今後も復興庁といたしまして、関係の皆様方と協力しながら、風評の払拭に向けて全力で取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 昨日、福島県が聖火ランナーにTOKIOのメンバーを起用することを発表されましたが、「復興五輪」の観点から、大臣の御所見をお願いします。

(答) 本当に私も喜んでおります。こういうメッセージ性の強い方々に御協力いただければ、すばらしい「復興五輪」になると思っております。幸先がいいなと思っております。

ありがとうございました。

(以 上)